

オードリー・ヘップバーンの モンテカルロへ行こう (1951)

NOUS IRONS A MONTE CARLO
WE WILL ALL GO TO MONTE CARLO

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 102分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

この仏映画でオードリーが演じるのはアメリカのスター女優。やはり人気男優の夫と不仲になり、そのため夫は彼等の赤ん坊を彼女のもとから奪って、パリのある託児所に預ける。これが、旅行に行く娘に押し付けられた楽団員の孫と混同され、彼がモンテカルロへの演奏旅行に、“楽団関係者ーあえて名を秘すーの落とし子を訳あって預かった”と言って連れてきたため、メンバー間では誰の子かと侃侃諤諤。一方、女優はヒステリックにマネージャー（実は夫側と内通している）に息子の行方を探させ、夫は夫で予想外の展開に驚き大騒ぎとなる。楽団の青年歌手と保養中の実業家の娘とのロマンスなど絡め、小粋なフレンチ・ジャズの魅力を堪能できるコメディで、オードリーは主役ではないが、やはりその美しさは印象深く、その後の彼女があまり演じない、向うっ気の強い役柄も面白い。

【クレジット】

監督	ジャン・ボワイエ	Jean Boyer
製作	レイ・ヴェンチュラ	Ray Ventura
脚本	ジャン・ボワイエ	Jean Boyer
	アレックス・ジョフェ	Alex Joffe
	セルジュ・ヴェベール	Serge Veber
撮影	シャルル・サン	Charles Suin
音楽	ポール・ミスラキ	Paul Misraki
出演	オードリー・ヘップバーン	Audrey Hepburn
	フィリップ・ルメール	Philippe Lemaire
	ジャネット・バッチ	Jeannette Batti
	マルセル・ダリオ	Marcel Dalio
	ダニエル・ゴデ	Danielle Godet
	アンリ・ジュネ	Henri Genes
	レイ・ヴェンチュラ	Ray Ventura
	ジョン・ヴァン・ドリーレン	John Van Dreelen